

静岡県地方創生ビジョン2015

地方こそ自民党政治の原点



自民党所属 県議会議員38名からの提言
地方創生を加速する。

実感を、その手に。

自民党
www.jimin.jp

制作 自由民主党静岡県支部連合会



自由民主党静岡県支部連合会
会長

衆議院議員 元文部科学大臣

塩谷 立

静岡県 地方創生ビジョン2015の 発刊に寄せて

アベノミクスの三本の矢は、日本経済に一定以上の効果を発揮し、デフレ脱却と次世代に繋ぐ新産業への投資を進めてきました。

しかし、地方社会における雇用の確保と所得の拡大には更なる有効な対策が求められており、『次は地方経済を取り戻す！ローカルアベノミクスの発動』をスローガンに、自民党は一丸となって地方創生を次なる最重要政策に位置付けました。

自民党が国政で危機に直面した時、私たちに残っていたものは、地方支部組織とこれを支えてくださる党员・党友、そして地域社会に貢献する志の高い県民の皆さまでした。自民党政治の原点は地方にこそあるということ、私たち自民党は決して忘れることはありません。

そのために、自民党所属の県議会議員38名から、皆さまの声を基に、次の静岡県に必要な政策を練り上げ、ここに地方創生ビジョン2015をまとめました。

私たち自民党静岡県連は、国民生活を守り未来を創造する唯一の責任政党であることを自覚して、果敢に挑戦を続けます。



自由民主党静岡県支部連合会
幹事長
静岡県議会議員

大石 哲司

今、出来ること 挑戦する自民党

我々、自民党所属県議会議員は「自民改革会議」の旗の下、より良い静岡県づくりに全精力を傾注し、日々精進しております。

本県の景気は、緩やかに回復しつつあり、有効求人倍率も改善傾向にあるが、依然として全国平均レベルにとどまっております。

やはり雇用・経済対策が喫緊の課題であることは明白です。さらに危機管理対策、教育・福祉等、直面する諸課題も待ったなしです。

我々は県民の一人一人の声に耳を傾け、静岡県の繁栄に責任を果たすため、全力で未来ある静岡県づくりと県民皆様の幸せの為、邁進して参ります。

県政と県議会最大会派・自民改革会議の4年間の歩み

	県議会・自民改革会議の歩み	県政の歩み(社会事情)
平成23年	<p>4月 10日 静岡県議会議員 選挙</p> <p>5月 臨時議会</p> <p>6月 定例議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会運営等改善検討委員会の設置 大規模地震対策、エネルギー有効利用推進、富士山静岡空港活性化 観光資源活用促進の4特別委員会を設置、2月定例議会にて提言報告 <p>9月 定例議会</p> <p>10月 決算特別委員会(平成22年度分)</p> <p>12月 定例議会</p>	<p>3月 (11日 東日本大震災発生)</p> <p>5月 (浜岡原子力発電所 運転停止)</p> <p>6月 韮山反射炉が九州・山口の近代化産業遺産群の構成資産候補に追加決定</p> <p>8月 モンゴル、ドルノゴビ県と友好協定 締結</p> <p>9月 「ふじのくに津波対策アクションプログラム」(短期対策編) 公表</p>
平成24年	<p>2月 定例議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会運営等改善検討委員会より議長への第一、二回答申 <p>4月 臨時議会</p> <p>5月 臨時議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業育成支援、内陸フロンティア振興、医療・福祉対策の 3特別委員会を設置、2月定例議会にて提言報告 <p>6月 定例議会</p> <p>9月 定例議会</p> <p>10月 決算特別委員会(平成23年度分)</p> <p>12月 定例議会</p> <ul style="list-style-type: none"> 議員提案「静岡県商店街振興及び活性化条例」制定 議員提案「静岡県と外国の地方公共団体との友好交流に関する条例」制定 	<p>3月 ふじのくに先端医療総合特区 認定(現在、県東部では医薬品、医療機器出荷額日本一)</p> <p>4月 新東名高速道路、御殿場JCT～三ヶ日JCT(延長162km) 前倒し開通</p> <p>5月 (国内全ての原子力発電所が運転停止) 清水港新興津第2バース 供用開始</p> <p>8月 米国ハワイ州とクリーンエネルギー導入推進のための覚書 締結</p> <p>9月 伊豆半島、日本ジオパーク 認定</p> <p>10月 東日本大震災の災害廃棄物の受入 開始</p> <p>12月 (衆議院議員選挙 実施、安倍内閣 発足)</p>



県政と県議会最大会派・自民改革会議の4年間の歩み

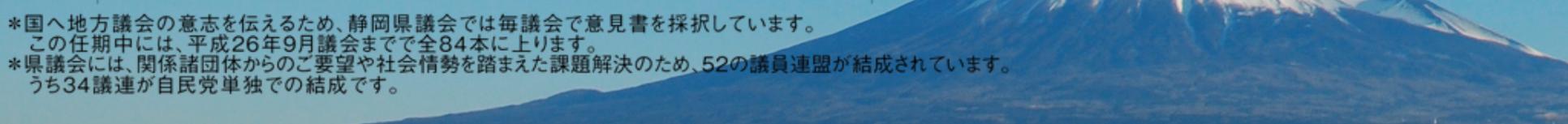
	県議会・自民改革会議の歩み	県政の歩み(社会事情)
平成25年	<p>2月 定例議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会運営等改善検討委員会 最終答申 <p>5月 臨時議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権擁護、富士山保全・活用の 2特別委員会を設置、2月定例議会にて提言報告 県議会議員補欠選挙(新たに4議員が自民改革会議に入会) <p>6月 6月定例議会</p> <p>9月 9月定例議会</p> <p>10月 決算特別委員会(平成24年度分)</p> <p>12月 12月定例議会</p>	<p>4月 〈浜松市天竜区春野町地すべり崩壊 発生〉</p> <p>5月 静岡の茶草場農法、世界農業遺産に認定</p> <p>6月 〈静岡県知事選挙〉</p> <p>富士山—信仰の対象と芸術の源泉、世界文化遺産への登録決定</p> <p>「第4次地震被害想定」(人的・物的被害等) 策定</p> <p>「地震・津波対策アクションプログラム2013」公表</p> <p>ふじのくに防災減災・地域成長モデル総合特区 国が認定</p> <p>7月 〈参議院議員選挙 実施〉</p> <p>11月 「第4次地震被害想定」(ライフライン・交通施設・経済的被害等) 公表</p> <p>〈「和食」が無形文化遺産 登録決定〉</p>
平成26年	<p>2月 定例議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員提案「静岡県中小企業者の受注機会の増大による地域経済の活性化に関する条例」制定 ・議員提案「消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例の一部を改正する条例」制定 <p>5月 臨時議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代人材育成、人口減少対策の 2特別委員会を設置、2月定例議会にて提言報告予定 <p>6月 定例議会</p> <p>9月 定例議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員提案「静岡県家庭教育支援条例」制定 ・議員提案「静岡県観光振興条例」制定 <p>11月 決算特別委員会(平成24年度分)</p> <p>12月 定例議会</p>	<p>2月 伊豆縦貫自動車道・東駿河湾環状道路、三島塚原IC～西南塚本IC(延長6.8km) 開通</p> <p>3月 浜名湖花博2014 開幕</p> <p>「静岡県総合計画」後期アクションプラン 公表</p> <p>「静岡県経済産業ビジョン2014-2017」策定</p> <p>4月 〈消費税率8%に引上げ〉</p> <p>6月 南アルプス、ユネスコエコパークに登録決定</p> <p>7月 プラザヴェルデ グランドオープン</p> <p>8月 伊豆半島の世界ジオパーク推薦 決定</p> <p>9月 深良用水、灌漑施設遺産への登録決定</p> <p>〈第2次安倍改造内閣 発足〉</p> <p>〈御嶽山 噴火〉</p>

*国へ地方議会の意志を伝えるため、静岡県議会では毎議会で意見書を採択しています。

この任期中には、平成26年9月議会までで全84本に上ります。

*県議会には、関係諸団体からのご要望や社会情勢を踏まえた課題解決のため、52の議員連盟が結成されています。

うち34議連が自民党単独での結成です。



自民党静岡県連

19分野全92本の政策提言

ここにまとめた提言は、県政の諸課題を分野別に整理し、私たちが次の時代に向けて挑戦する政策です。

実現に向け、同じ目標を見据え、夢を共有していただける皆さまのエネルギーを結集します！

※地方自治体、各種支援団体、地域社会の皆さまからのご要望の全てを掲載したものではありません。

頂戴したご要望等については、鋭意実現に向け取り組んでおります。

地方創生

持続的发展へ、まち・ひと・しごとを創生する!

- 若者の雇用、好奇心に応えるチャンス、子ども達への優れた教育を備え、他県に先駆けて東京一極集中から脱却します
- 提案公募型の地方創生に対応し、計画段階から県内の叡智を結集、専門アドバイザーの派遣等で市町まちづくりを応援します
- 新東名高速自動車道周辺など内陸フロンティアと沿岸部リノベーションを推進し、次世代産業を視野に、企業誘致件数日本一を復活します
- 医療、健康、エネルギー、航空、ロボットなど、次世代への新産業の開発拠点を再構築、ものづくり県としての魅力を高め、高度な雇用環境を整備します
- 日本一の食材数を誇る本県の農林水産業、6次産業化と輸出産業への挑戦を視野に、新たな労働市場の形成を進めます



清水港海路県道223号線

観光・文化 スポーツ

世界に誇る郷土の力、 日本を代表する観光・交流県への挑戦!

- 2016年主要国首脳会議（サミット）の浜名湖、関係閣僚会議の日本平開催へ、誘致活動を推進
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界のスポーツ選手合宿の誘致と文化活動の事前開催で更なる誘客とシティプロモーションを推進します。
- 信仰の対象と芸術の源泉、世界文化遺産富士山の魅力を世界へ発信します
- 世界農業遺産『静岡の茶草場』、無形文化遺産となった和食とお茶のコラボレーション等により茶業振興を図ります
- 伊豆半島の世界ジオパークへの加盟、韮山反射炉の世界遺産登録など、更なる世界水準の認定を目指します
- ラグビーワールドカップ2019や自転車競技など、世界規模、全国レベルの大会誘致に取り組みます



草薙総合運動公園



サミット誘致候補の浜名湖

経済政策

ローカルアベノミクス、次は地方経済を取り戻す

- 新成長分野に挑戦する企業、新たな設備投資に挑戦する企業へ、資金調達の環境を整えます
- 命を守る公共事業で県土強靱化と景気対策を両立するため、公共事業の速やかな発注と確実な実施で、地域経済に貢献する行政を実現します
- 安倍内閣が進める『日本再興戦略』※2と連動し、戦略的な市場創造、国際市場への積極展開を支援します
- 県内中小企業等の受注機会を拡大し、所得拡大を支援します



次世代自動車

危機管理

生命と財産を守る、 地域の実情に応じた防災体制の構築!

- TOUKAI-ゼロ！公共施設、住宅の耐震化へ更なる予算措置を講じます
- 公共施設、社会インフラなどの老朽化対策を進め、生活基盤の安全強化を進めます
- 第4次地震被害想定を踏まえ、地震、津波対策アクションプログラム2013※1を着実に推進し、レベル1地震に備えます
- レベル2地震※4による強大な津波には、市町との連携による緑の防潮堤築造など、『静岡モデル』を推進します
- 自衛隊、警察、消防、周辺自治体などとの連携を強化し、災害時の迅速な対応に備えます
- 地域防災のネットワーク化と防災備品の充実を支援し、訓練への支援と指導を行います
- 消防救急広域化、消防救急無線のデジタル化の促進、消防資機材の充実に努めます



浜松「静岡モデル」

子育て支援

STOP!人口減少。 産み、育て、学び、働く、次代を見据えた人材の育成

- 若者が安心して家庭を築けるよう、雇用の安定と所得拡大に支援します
- 出会いの場の創出、不妊治療への支援充実で、結婚と出産を応援します
- 子ども子育て新制度※5の体制構築により、安定した経営と地域間格差の解消を実現し、幼児の学ぶ機会、親の働く機会を拡充します
- 学童保育の拡充と中学校部活動の充実など、地域社会からの支援を確保し、次世代人材の豊かな体験へとつなげます



議会改革

徹底したコンプライアンスと 政策立案型議会への改革!

- 県民生活の一步先を見据えた『議員提案条例』※8を積極的に提案、策定します
- 政務活動費の適正活用と県民への説明責任を果たし、議会の『見える化』を進めます
- 常に議会の適正規模を自らに問い、政令市を含めた定数削減、選挙区割の検討を重ねます



行政改革

行政資源の最適活用と市町との連携強化へ、 更なる行政改革の推進!

- 権限移譲の更なる推進で二重行政を解消し、市町行政との連携と県行政運営の効率化に努めます
- 国との情報共有に努め、社会資本整備総合交付金など地方行政に必要な財源の確保に努めます
- ファシリティマネジメント※9に基づき県有施設の総量最適化や有効活用を進めます
- 速やかな情報発信による分かりやすく親しみやすい県政を実現、更なる県民参加を推進します
- 若手や女性、職員の能力を引き出し、幅広くバランスのとれた行政運営を実現します

エネルギー

安全・安心のエネルギー供給へ、 常に県民の声を聞き厳しく検証

- 一般家庭における新エネルギー利用を促進し、県民の省エネルギー意識の向上に努めます
- 次世代エネルギー、再生可能エネルギー※10の導入促進、エネルギー産業の可能性を追求するとともに、電源構成のベストミックスを目指します
- 公共施設への新エネルギー利用の先行導入、電気・水素自動車などの普及促進で、新たなエネルギー市場を形成します
- 原子力発電所は安全第一主義を徹底、専門的知見の集積を図り、使用済燃料の処理方法の確立を目指すとともに、中小零細企業等の経営に配慮した電気料金体系を目指します



小水力発電

雇用

誰もが働きやすい静岡

- 企業誘致と流出防止策を推進し、雇用の安定と拡大を図ります
- 若者や女性の就業を過不足なく実現するため、職業訓練、復職支援等を充実します
- 障がい者雇用への理解を深め、社会参加機会を確保します
- 高齢者の経験を活かした新ビジネスを応援します

ものづくり | 攻めのモノづくり産業

- ファルマバレー※11への更なる産業集積を進め、医薬品、医療機器の生産日本一を維持します
- 新エネルギー、健康福祉、航空、宇宙、ロボットなど、次世代産業※12への参入企業を応援します
- 県産材の積極活用など、伝統的なモノづくりの技術、市場を守ります



全国一の生産を誇る
最先端の医療機器

農林水産業

攻めの農林水産業

- 6次産業化を進め、農林水産業の輸出を拡大します
- 茶業振興を進め、新ブランド、新商品の創出を支援します
- 耕作放棄地の再生利用を進めます
- 野生有害鳥獣対策を推進します
- 一次産業の経営を強化し、次世代人材の育成を図ります
- 漁港整備と漁場涵養を進め、『水産王国 静岡』の復活を支援します



茶草場農法

道路整備

**道は、命を守り経済を動かす生命線、
着実に早期実現を目指す**

- 命の道となる高規格幹線道路、主要幹線道路の整備促進を進めます
(主要道路は県将来構想図に掲載)
- 橋りょうやトンネル等道路施設の長寿命化を進めます
- 県管理道路に隣接する『道の駅』の防災機能を強化します
- 生活道路、通学路の安全対策を推進し、事故を抑制し、緊急避難に備えます



新東名 開通式典

港湾整備

県内港湾施設の機能を強化、 駿河湾港ネットワークを構築

- 物流と賑わいのウォーターフロント開発で、新たな集客と産業の拠点化を進めます
- 県駿河湾港整備基本計画※13を推進します
- 港湾岸壁の強化を進め、防災港湾として緊急対応力を備えます
- 津波高潮対策施設※14の早期完成を目指します

河川海岸整備

津波に備える海岸線強靱化、 集中豪雨に備える河川強靱化

- 県地震津波対策アクションプログラム2013の
着実な推進で、防潮堤の嵩上げ、粘り強い構造への
転換を進めます
- 海岸保全対策の推進で砂浜の再生を図るとともに、
嵩上げ、液状化対策で防災機能を備えます
- 河口部の水門整備と適切な維持管理に努めます
- 県管理河川の整備促進と堆積土砂対策など、
きめ細かい維持管理を進めます
- 市町行政との連携による浸水対策を進めます



浸水対策に向けた河川整備

医療

医療人材の専門力を引き出し、 安心の医療提供体制を構築する

- 医師、歯科医師、薬剤師、看護師など専門従事者の不足と偏在を解消します
- 医師等のキャリア形成、看護師の復職を支援、職場環境の改善にも努め県内定着を図ります
- 病診連携を進め、誰でも安心して受診できる、バランスのとれた医療機能の分化と高度化を進めます
- 薬剤師の専門性を活かし、セルフメディケーション※15の推進、感染症・薬物乱用の防止に努めます
- 市町への子ども医療費助成を継続し、負担格差を解消します
- 国民健康保険制度の県への一元化では、適切な負担を考慮し制度の持続的運用を図ります



福祉

地域で支える医療と介護、地域包括ケアシステム※16の早期体制整備

- 在宅医療、訪問看護などの拠点を整備し、医療人材の更なる充実を図ります
- 施設介護の必要な高齢者、障害者には、更なる施設充実で入所待機者の解消を図ります
- 高齢者の経験を地域に活かす、世代を超えた交流社会を実現します
- 障がい者雇用の推進など、ユニバーサルデザイン※17の更なる普及を進めます
- 生活保護、各種生活支援制度の適切な運用を図ります

学力向上

学力に自信を持つ児童・生徒を育てる

- 教員の指導力、家庭学習の定着※6、適切な教材の選定※7など
オール静岡で学力を引き上げます
- 教育委員会から教員の現場復帰を促し、教員の増員や事務の効率化により教員の多忙化を解消します
- 小中一貫教育の導入を促進し、教育の継続性による学力の定着を図ります
- キャリア教育の推進、理数系科目の充実など、次代を見据えた人材を育成します
- 『読書県静岡』を推進し、活字離れを防ぎ、正しい日本語と文化を継承します

教育環境

子ども達の健全な成長のために、適切な教育環境を実現する

- 徳育を一層充実し、自己、家庭、地域、母国に誇りを持つ人材を育成します
- いじめ※18や校内暴力には厳しい姿勢で臨み、県の学校支援、保護者支援を実施します
- 教員配置の充実を図るとともに、教員の年齢構成の適正化を進めます
- 教員の不祥事は断固撲滅します
- 支援員の拡充や施設の確保で特別支援教育を充実します
- 部活動の指導体制を充実し、スポーツや文化に親しむ機会を確保します

治安環境

犯罪一掃、事故抑制、警察行政の充実

- 県民生活の安全と直結した警察活動の基盤を強化します
- 振り込め詐欺、ストーカー、ドメスティックバイオレンスなどの犯罪を撲滅します
- 危険ドラッグ※19、インターネットの不適切利用など、新たな犯罪への監視、取締体制の構築を進めます
- 犯罪被害者への支援体制を充実し、平穏な生活の回復に努めます
- 警察署の新設、改修、移転を迅速に進めます
- 道路管理社との連携を深め、交通標識などの適正配置、交通安全の意識啓発に努めます



地方創生へと繋がる、

静岡県 “内陸フロンティア”

企業誘致、新産業の創造・育成を通じて、人口流出を食い止め、
静岡県独自の成長に挑戦します！（平成26年10月現在の指定状況）

東伊豆町 ● 稲取高原特色を生かした観光地づくり推進区域（観光交流施設）

伊東市 ● 伊豆・いとう地魚王国推進区域（観光交流施設）

沼津市 ● 多様な価値を内包した居住空間づくり推進区域（住宅団地）

三島市 ● 農業・観光関連施設集積区域（6次産業化施設整備）

● 三ツ谷地区新たな産業拠点整備区域（工業団地）

● 三島玉沢インターチェンジ周辺医療・健康関連産業等集積区域（工業団地）

● 高規格幹線道路を生かした安全・安心のまちづくり促進区域（工業団地）

● ゆとりある田園居住区整備促進区域（住宅団地）

御殿場市 ●舟久保工業用地開発推進区域（工業団地）

小山町 ●(仮称)小山パーキングエリア・スマートセンターを活用した
地域産業集積事業推進区域（観光交流施設）

●再生可能エネルギーを活用した産業拠点整備事業推進区域
（工業団地）ほか

長泉町 ●長泉沼津IC周辺物流関連産業等集積区域（物流団地）

裾野市 ●東名裾野IC周辺地域における防災・減災と職住近接に配慮した
地域づくり推進区域（工業団地）

富士市 ●新東名新富士IC周辺物流拠点創出事業区域（工業団地）

●田子の浦港周辺防災対策・にぎわい創出推進事業区域（観光交流施設）

静岡市 ●駿河区丸子・宇津ノ谷地区における新たな物流拠点整備区域（物流団地）

●葵区薬師地区における新たな物流拠点整備区域（物流団地）

藤枝市 ●新東名藤枝岡部IC周辺推進区域（工業団地、職と農の拠点施設）

吉田町 ●物資供給拠点確保事業推進区域（防災公園と商業施設）

●企業活動維持支援事業推進区域（工業団地）

- 島田市 ●新東名島田金谷IC周辺都市的土地利用推進区域（工業団地）
●中河東中瀬工業用地創出区域（工業団地）

- 磐田市 ●磐田市下野部地区産業集積区域（工業団地）
●福田漁港周辺“食の拠点”区域（観光交流施設）

- 掛川市 ●「上西郷地区」産業集積推進区域（工業団地）
●「寺島・幡鎌地区」農地整備推進区域（6次産業化施設）
●「倉真第2PA地区」整備推進区域（観光交流施設）
●「大坂・土方地区」産業集積推進区域（工業団地）
●「新エコ第3期地区」産業集積推進区域（工業団地）
●「掛川市海岸命を守る希望の森づくり地区」推進区域（防潮堤整備）

- 森町 ●遠州森町PA周辺有効活用推進区域（観光交流施設）
●森掛川IC周辺次世代産業集積区域（工業団地）
●内陸部への移転企業の受け皿確保区域（工業団地）

- 浜松市 ●「未来創造『新・ものづくり』特区」新・産業集積推進区域（工業団地）

静岡県地方創生ビジョン 2015MAP

地域から寄せられる社会安全と改革改善を求める
県民の声、自民党県内67支部からの要望を基に
作成しました。



静岡県地方創生ビジョン 2015MAP

地域から寄せられる社会安全と改革改善を求める県民の声、自民党県内67支部からの要望を基に作成しました。



静岡県地方創生ビジョン 2015MAP

地域から寄せられる社会安全と改革改善を求める県民の声、自民党県内67支部からの要望を基に作成しました。



静岡県地方創生ビジョン 2015MAP

地域から寄せられる社会安全と
改革改善を求める県民の声、
自民党県内67支部からの要望を基に
作成しました。

水量減少・工事土砂処分・森林環境保全、
リニア建設への監視体制を整備



静岡県地方創生ビジョン 2015MAP

地域から寄せられる
社会安全と改革改善を求める
県民の声、
自民党県内67支部からの
要望を基に作成しました。



静岡県地方創生ビジョン 2015MAP

地域から寄せられる社会安全と改革改善を
求める県民の声、
自民党県内67支部からの要望を
基に作成しました。

